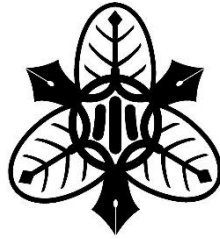


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和6年2月22日 第10号

文責： 校長 井 正成

学習発表会をご参観いただき、ありがとうございました。

先週16日(金)に、3年ぶりに参集形式で学習発表会を開催したところ、多くの保護者の皆様にご参観いただきました。体育館のステージに立って発表する経験が初めてだった子供たちがほとんどで、大変な緊張の中での発表であったかと思えます。この学習発表会の経験が、今後の成長にきつとつながるものと思えます。今回、ステージに立つことができなかつた子供たちも、次の機会に向けて、日々目的や目標を持って学習や生活をしていってほしいと思えます。

1, 2, 3年生の発表は、国語や音楽で学んだ内容が中心でした。1年間の子供たちの成長をととても強く感じ、目頭が熱くなりました。4, 5, 6年生は「阿蘇の草原を守る」「水俣病の学習から考える人権問題」「修学旅行を通して学んだ平和について」というテーマで、本年度「社会科」や「総合的な学習の時間」を中心に取り組んできたことを発表しました。低学年の子供たちも、真剣な眼差しで高学年の発表に耳を傾けていましたし、参観の皆様にも、子供たちの思いやメッセージを発信することができ、子供たちも満足感や達成感を感じたものと思えます。

寒い中にご参観いただいたことにお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

大谷翔平選手からのグローブのプレゼント 内牧小にも届きました

大谷選手からのプレゼントのグローブが内牧小にも届きました。全学級にグローブを回し、子供たちに触れてもらいました。思い思いにグローブを手にはめてみたり、新聞紙を丸めたボールでキャッチボールをしたりするなど、子供たちは大谷選手からのプレゼントをととても喜んでいました。

今回のグローブの学校への寄付にあたっては、大谷選手からのメッセージが添えられています。その中には、今回の寄付は「子供たちが野球に興味を持ってもらうためのプログラムである」「このグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなることを望んでいる」等の言葉があります。

始業式の子供たちへの私からのあいさつで、大谷選手の高校生時代の「目標設定シート(マンダラチャート)」の内容について紹介しました。大谷選手の高校時代の目標のほとんどは野球に関する内容ですが、『運』を引き寄せたり『人間性』を高めたりするための目標も設定されています。大谷選手の今の姿があるのは、子供の頃からしっかりとした考え方や明確な目標を持って生活をしてきたことや、普段の生活から自分を高めるための心がけや努力をしていたからであると思えます。大谷選手がやっていたことは、内牧小の子供たちも、しっかりとした意識や考えを持ってやればできることでありますし、目標を自分で決め、それに向かって努力することが大切であることを改めて子供たちに話をしました。

このプレゼントが、子供たちが夢や目標を持って主体的に努力するための大切な教材となるように活用していきたいと考えています。